

# 【国語／現代文（実用的文章）】

## ～ClassPad.netの各種ふせん機能・同時編集機能を活用する～

資料を正しく効果的に活用し、論理的な表現を目指す授業

法律の条文を読み取るだけでなく、関連する資料を収集して、論理的な思考を身につける。

### 【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：実用的な資料を正しく理解・活用する力を身につけさせる。論拠をもとに、自身の主張・意見をまとめる力を身につけさせる。

生徒向けの目標：法改正についての資料を読み取る。必要な情報を調査するだけでなく、自ら資料の収集を行い、論理的な思考によって考察する力を身につける。

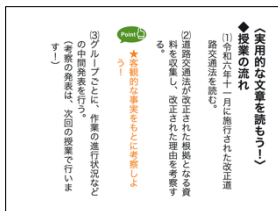
### 【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **協働学習促進**：同時編集機能を活用することで、必要な情報の調査・収集・まとめをグループごとに効率的・効果的に行うことができる。
- ・ **探究学習促進**：各種のふせん機能によって、多種多様な資料を、その資料に適した形でまとめることができるため、論理的な考察に役立てられる。

## 授業の流れ

## ClassPad.net での操作

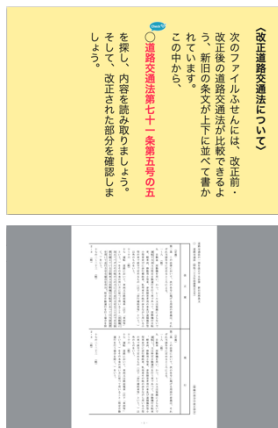
### step1



### 概要の説明

令和6年11月に施行された改正道路交通法についての資料を読み取り、その改正の理由を、根拠となる情報を収集して考察する、という授業の概要とその意図（論理的思考力の育成）を伝える。

### step2

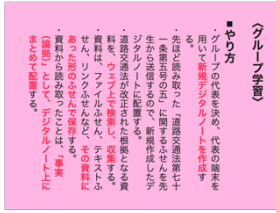


### 資料の読み取り

「道路交通法第71条第5号の5」について、改正前と改正後の条文を読み取り、改正された部分とその内容を確認する。

該当する道路交通法の抜粋をファイルふせんおよびテキストふせんで用意し、電子黒板やプロジェクターで見せる。

## step3

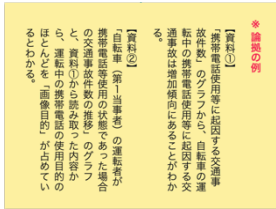


## 情報収集

クラスをいくつかのグループに分ける。そして、step2で読み取った道路交通法の改正について考察するため、グループごとに関連する資料を集めてもらう。資料の種類は、文章・表・グラフなど、考察に役立つものであれば種類を問わないことを伝えておく。また、そこから読み取れる情報を確認し、グループごとにまとめさせる。

グループの代表に新規デジタルノートを作らせ、そこに同時編集機能で資料をまとめさせるようにする。また、グループの代表にはstep2で提示した2種類のふせんを授業支援機能で送信し、作ったデジタルノートに配置させる。収集してもらった各種資料は、ファイルふせんやテキストふせん、リンクふせんなど、その資料に合った形のふせんで用意するよう留意させる。収集した資料から読み取れる情報はテキストふせんに記載させる。これらを「事実（論拠）」として、デジタルノート上で一箇所にまとめて配置させる。

## step4

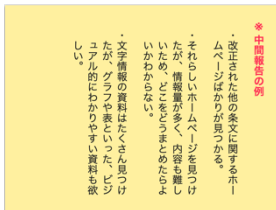


## 考察・整理

step3で収集した情報・資料をもとに、グループごとに道路交通法の改正についての意見をまとめる。意見をまとめる際には、集めた資料から読み取れる「事実（論拠）」に基づいてまとめるように注意しておく。

step3でまとめた「事実（論拠）」から導き出される考察・意見を、「主張・意見」としてテキストふせんにてまとめさせる。

## step5

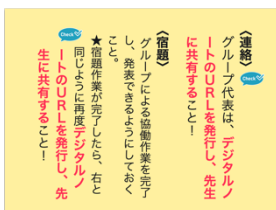


## 中間報告

step3・4の作業の進行状況や、作業をしている中で困っている点などについて、各グループに報告してもらう。それに対して、集めた資料で支援できそうなグループがあれば、資料の一部を共有してもらうなど、グループ内だけでなくクラス全体での協働学習にもなるように配慮する。また、教員からも課題解決のヒントになるようなアドバイスを加える。

グループ間での資料の共有には、授業支援機能を利用させる。その際、他グループからの支援は可能な限りリンクふせんの共有程度に留め、それ以降の情報収集は自分たちのグループで行うよう指導する。

## step6

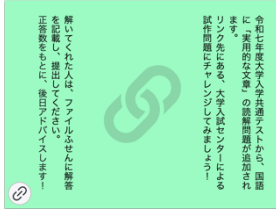


## まとめ・宿題

step5までの段階で出来ているまとめを、各グループから回収する。そして、次回授業時までまとめを終わらせておくことを宿題とする。宿題は、次回授業までに各グループの代表から回収する。次回の授業においてそれをもとに意見の発表をしてもらうことを伝える。

まとめの回収のため、グループ代表にはデジタルノートのURLを発行させ、それを共有してもらう。教員はそれらを次回授業時までにとおりチェックする。宿題の回収も同様に行う。宿題として回収した完成版のデジタルノートも次回の授業前に確認し、発表の際に効果的なフィードバックができるよう備えておく。

step7



### 参考・補足

令和7年度大学入学共通テストから、国語に「実用的な文章」の読解問題が追加されることを紹介した上で、大学入試センターによる試作問題を発展課題として提示する。

ファイルふせん、もしくはリンクふせんにて問題を配布する。解答はテキストふせんに記載させ、任意課題として提出させる。